

合同シンポジウム（第10回日韓合同「農作業安全シンポジウム」・
第3回国際農作業安全シンポジウム）の概要

1. 日時：平成30年10月13日（土）午前9時～正午

2. 概要

(1) 開会あいさつ

藤原秀臣名誉理事長（全国農作業事故防止対策連絡協議会会長）および李敬淑課長（韓国農村振興庁農業者安全保健課）が開会挨拶をした。

(2) これまでの取り組み

立身政信理事（農機具災害部会統括責任者）がこれまでの日韓シンポジウムの内容について報告した。

[日韓合同「農作業安全シンポジウム」の開催内容]

- 第1回（2009年）：韓国にて農村振興庁・日本農業新聞等の主催で開催
- 第2回（2010年11月）：第59回日本農村医学会（盛岡）
- 第3回（2011年11月）：韓国ソウル・国会議員会館
- 第4回（2012年11月）：第61回日本農村医学会（松江）
- 第5回（2013年8月）：韓国スオン・農村振興庁
- 第6回（2014年11月）：第63回日本農村医学会（つくば）
- 第7回（2015年12月）：韓国チョンジュ・農村振興庁
- 第8回（2016年10月）：第65回日本農村医学会（志摩）
- 第9回（2017年8月）：韓国・檀国大学
- 第10回（2018年10月）：第67回日本農村医学会（東京）

[国際農作業安全シンポジウムの開催内容]

- 第1回（2016年6月）：韓国ソウル・国会議事堂・憲政会館大会議室
- 第2回（2017年8月）：韓国ソウル・国会議事会館
- 第3回（2018年10月）：第10回日韓合同シンポジウムと同時開催

(3) 感謝状贈呈

三廻部眞己氏に、農業者の安全な農作業基盤造成において多大なる貢献をされ、日本と韓国の農作業事故防止活動の交流に献身したことに対して、第10回日韓合同シンポジウムを記念して感謝状を贈呈した。

(4) 課題発表および総合討論

埜田和史・大浦栄次評議員を司会にシンポジウムを行い、シンポジスト3名が講演した後、金英文氏が加わって総合討論が行われた。

1) ヨーロッパの安全保健現況と問題

スウェーデン農業科学大学教授／国際農村医学会副会長 Peter Lundqvist

2) 韓国の安全保健現況と新たな挑戦

韓国農村振興庁農業者安全保健課課長 李 敬淑

3) 日本における農協共済金支払いデータに基づく農作業事故の発生状況の分析

J A 共済連全国本部農業リスク事業部企画調査グループ 原田達也

(5) 決議文採択

立身政信理事が、農作業安全対策に向けての決議文を読み上げ、全会一致で採択された（次ページのとおりに）。

(6) 閉会挨拶

立身政信理事および金英文会長が閉会挨拶をした。

以上

決 議

農作業安全対策に向けて、第10回日韓合同「農作業安全シンポジウム」および第3回国際農作業安全シンポジウムを開催した。全世界の全ての農業者が農作業事故を無くし、安全で安心できる農作業を実現するために、以下決議する。

- 一 我々は農民を主体とする安全保健の取り組みを展開する
- 一 農民の健康と安全を高めるための国際連帯の強化を図る
- 一 農業農村の多面的機能及びその担い手となる農民の健康を国家が支援する体系を構築する
- 一 ILO に小規模農家の安全保健管理体系を構築するよう促す

上記決議する。

2018年10月13日

第10回日韓合同「農作業安全シンポジウム」
第3回国際農作業安全シンポジウム

参加者一同